

手指用殺菌消毒薬

日本標準商品分類番号：872619

薬価基準対象外

ヘキサックスクラブ®

クロルヘキシジン製剤



禁忌 (次の場合には使用しないこと)
クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者



ヨシダ製薬

ヘキサック®スクラブ



4^W/v%クロルヘキシジン液：界面活性剤と色素を含む

本剤は100mL中にクロルヘキシジングルコン酸塩4gを含むスクラブタイプの手指消毒薬です。クロルヘキシジンは広範囲の抗微生物スペクトルを有しグラム陽性・陰性菌を始め多くの微生物に対し殺菌作用を発揮します。

特 徴

- 術前・術後の術者の手指消毒に有効です。
- グラム陽性・陰性菌に対して幅広い抗菌スペクトルを示します。
- 殺菌作用は迅速でかつ持続性があります。

ツーステージ・サージカル・スクラブ法(ツーステージ法)の手順

ツーステージ・サージカル・スクラブ法(ツーステージ法)

スクラブ剤を用いた手洗い後、アルコール擦式剤で消毒する方法です。消毒がスクラブ、ラビング(擦式消毒)の2段階に行われることからツーステージ法と呼んでいます。この方法でのスクラブ剤では通常5～6分程度の時間をかけて消毒します。スクラブするときはブラシを使う方法、爪周囲のみブラシを使う方法、揉み洗いのみ(ブラシレス)による方法などがありますが、最終的に擦式消毒剤で仕上げする点で、これらを全てツーステージ法に分類します。

1 消毒薬配合スクラブによる手洗い



※写真は消毒薬配合スクラブの例
7.5%ポビドンヨード配合スクラブ
(ポビドン®スクラブ7.5%)
4%クロルヘキシジン配合スクラブ
(ヘキサック®スクラブ)

手洗い後、滅菌
ペーパータオルで拭きます

2 速乾性擦式手指消毒剤で消毒



アルコールが
乾燥したら完了

速乾性擦式消毒薬にはクロルヘキシジン製剤や
ポビドンヨード製剤などがあります。

※写真はクロルヘキシジン製剤の例
(ウエルアップ®ハンドローション0.5%・1%)

※ポビドンスクラブ7.5%、ウエルアップ®ハンドローション0.5%・1%*につきましては、それぞれの製品情報概要等をご参照ください。

有効性

各種細菌・真菌に対する殺菌効果【MIC（最小発育阻止濃度）】¹⁾

ヘキザック®スクラブMICを細菌は日本化学療法学会標準法(微量液体希釈法)、真菌(酵母)は日本医真菌学会提案法(改良ミクロ法)を準用して試験した結果を以下に示した。

供 試 菌 株			MIC(μg/mL)
グ	<i>Staphylococcus aureus</i>	ATCC 6538	1.6
ラ	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	CI	1.6
ム	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	CI	1.6
陽	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	JCM 2414	1.6
性	<i>Staphylococcus haemolyticus</i>	JCM 2416	0.8
菌	<i>Enterococcus faecalis</i>	IFO 12964	3.1
グ	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	ATCC 15442	50.0
ラ	<i>Burkholderia cepacia</i>	IFO 14595	12.5
ム	<i>Escherichia coli</i>	ATCC 10536	3.1
陰	<i>Serratia marcescens</i>	JCM 1239	25.0
性	<i>Proteus vulgaris</i>	IFO 3988	6.3
菌	<i>Salmonella choleraesuis</i> subsp. <i>choleraesuis</i>	JCM 1652	6.3
真 菌 (酵 母)	<i>Candida albicans</i>	ATCC 10231	12.5

CI：臨床分離株

各種細菌・真菌に対する殺菌効果【(EN1040)】¹⁾

ヘキザックスクラブの原液およびクロルヘキシジングルコン酸塩濃度として1.25%及び0.625%（4倍および8倍）の希釈液を試験液とし、Clean（注射用水）、Dirty（10%ウシアルブミン溶液（最終濃度1%）条件下で下記菌株の接種菌液と作用させた。作用液の1mLあたりの菌数及び作用液1mLあたりの接種菌数を求め、指数減少値（LRV：Log Reduction Value）を算出したところLRVはすべて5以下となり、欧州標準法の判定により、殺菌効果が認められた。

供 試 菌 株	希 釈 倍 率	対数減少値 (LRV)	
		接触時間：1分	接触時間：3分
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 6538	原液	>5	>5
	4倍	>5	>5
	8倍	>5	>5
<i>Staphylococcus epidermidis</i> JCM 2414	原液	>5	>5
	4倍	>5	>5
	8倍	>5	>5
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 15442	原液	>5	>5
	4倍	>5	>5
	8倍	>5	>5
<i>Escherichia coli</i> ATCC 10536	原液	>5	>5
	4倍	>5	>5
	8倍	>5	>5

>5：LRV5以上（減菌率99.999%以上）

ヘキサックスクラブ

Hexizac Scrub ●4w/v%クロルヘキシジン液

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌（原則禁忌を含む）、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。

日本標準商品分類番号	872619
承認番号	21200AMZ0060100
薬価収載	薬価基準対象外
販売開始	2001年1月

貯法：遮光、室温保存
使用期限：3年(容器に記載)

禁忌(次の場合には使用しないこと)

クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者

組成・性状

1. 組成

本剤100mL中、日本薬局方クロルヘキシジングルコン酸塩液20mL(クロルヘキシジングルコン酸塩として4g)を含有する。

添加物として、ラウロマクロゴール、プロピレングリコール、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、モノステアリン酸ポリエチレングリコール、ラウリン酸ジエタノールアミド、エタノール、ラウリルジメチルアミンオキソド液、pH調整剤、赤色102号、香料、その他2成分を含有する。

2. 製剤の性状

本剤は、赤色透明のやや粘性の液で、わずかに芳香がある。
pH:5.7~6.7 比重d₂₀:約1.02

効能・効果

医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒

用法・用量

1. 術前、術後の術者の手指消毒の場合

手指及び前腕部を水でぬらし、本剤約5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流し、更に本剤約5mLで2分間洗浄をくりかえし、同様に洗い流す。

2. 1.以外の医療従事者の手指消毒の場合

手指を水でぬらし、本剤約2.5mLを手掌にとり1分間洗浄後、流水で洗い流す。

使用上の注意

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)

薬物過敏症体質の者

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

※(1)重大な副作用

ショック(0.1%未満)、アナフィラキシー(頻度不明):ショック、アナフィラキシー(頻度不明)があらわれることがあるので観察を十分にいき行い血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

過敏症	発疹等(0.1~5%未満)
-----	---------------

症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1)投与経路

手指消毒以外の目的には使用しないこと。

(2)使用時

1)本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。

2)溶液の状態で長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

4. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与によりショック症状を起こした患者のうち数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異

的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

薬効薬理

クロルヘキシジンは広範囲な殺菌作用をもち、特にグラム陽性菌には低濃度で迅速な効果がある。またグラム陰性菌に対してはグラム陽性菌と比較して感受性に幅が見られるものの比較的低濃度で作用を示すことが知られている。真菌類についてもその多くは感受性を示すが、抵抗性を示すものがある。

ヘキサックスクラブの各種細菌、真菌に対する最小発育阻止濃度(MIC)は次の通りである。

供試菌株	MIC(μg/mL)
<i>S.epidermidis</i> JCM 2414	1.6
<i>S.haemolyticus</i> JCM 2416	0.8
<i>S.aureus</i> ATCC 6538	1.6
<i>S.aureus</i> (MRSA) 臨床分離株	1.6
<i>S.aureus</i> (MSSA) 臨床分離株	1.6
<i>E.faecalis</i> IFO 12964	3.1
<i>S.marcescens</i> JCM 1239	25
<i>E.coli</i> ATCC 10536	3.1
<i>P.vulgaris</i> IFO 3851	6.3
<i>S.choleraesuis</i> subsp. <i>choleraesuis</i> JCM 1652	6.3
<i>B.cepacia</i> IFO 14595	12.5
<i>Paeruginosa</i> ATCC 15442	50
<i>Paeruginosa</i> 臨床分離株	25
<i>C.albicans</i> ATCC 10231	12.5

取扱上の注意

- (1)経口投与しないこと。誤飲した場合には、牛乳、生卵、ゼラチン等を用いて、胃洗浄を行うなど適切な処置を行う。
- (2)本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
- (3)本剤の付着した白布を次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系漂白剤で漂白すると、褐色のシミができることがある。漂白には過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。
- (4)他の洗浄剤などと混ぜないこと。

有効成分に関する理化学的知見

一般名:クロルヘキシジングルコン酸塩(Chlorhexidine Gluconate)
化学名:2, 4, 11, 13-Tetraazatetradecane diimidamide,N,N'-bis(4-chlorophenyl)-3, 12-diimino-, di-D-gluconate

分子式:C₂₂H₃₀Cl₂N₁₀·2C₆H₁₂O₇

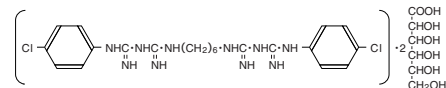
分子量:897.76

性状:通常、水溶液として存在し、その20w/v%液は、無色~微黄色の澄明な液で、においはなく、味は苦い。

水又は酢酸(100)と混和する。本剤1mLはエタノール(99.5)5mL以下又はアセトン3mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。

光によって徐々に着色する。

構造式:



包装

規格	調剤包装単位コード	販売包装単位コード
500mL	(01)04987288155027	(01)14987288155253

※2017年10月改訂



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951

【製品情報サイト】 <http://www.yoshida-pharm.jp/>

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10
Tel:03-3381-2004

©1812KK
400057
2018年12月改訂